

17 我が街 船橋を歩く—神社仏閣(15) 道祖神社—

29期 仲田 元昭

前回ご案内の巖島神社より徒歩5分程にある、道祖神社をご案内します。船橋には、69社の神社があります。旧九日市村（現船橋本町・北本町）には、江戸時代に造成された東金御成街道の北側には神社が、南側旧上総道沿いには寺院が何故か分かれて存在しています。

「道祖神社」

道祖神社は、旧本町3丁目の鎮守様です。道祖神は旅の神、道の神であり、外部から襲ってくる疫病や悪霊よけ、町の安全を守る神で、各地の村の境や分かれ道にあります。

また、足と耳の病気を治してくれる神さまとしても知られてきました。

昔はこの辺りが村のはずれか分かれ道であったのでしょう。

「狛犬」

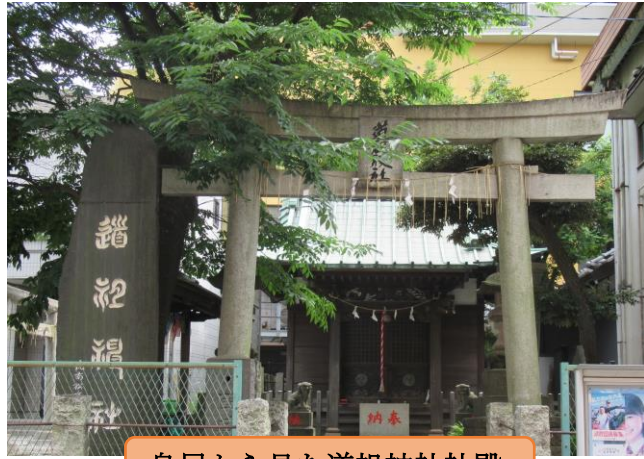
社殿前には、立派な狛犬が魔除けとして神社を守っています。

この狛犬は、明治28年(1895)に奉獻され、台石には地元の奉納者20名の名前が刻まれています。

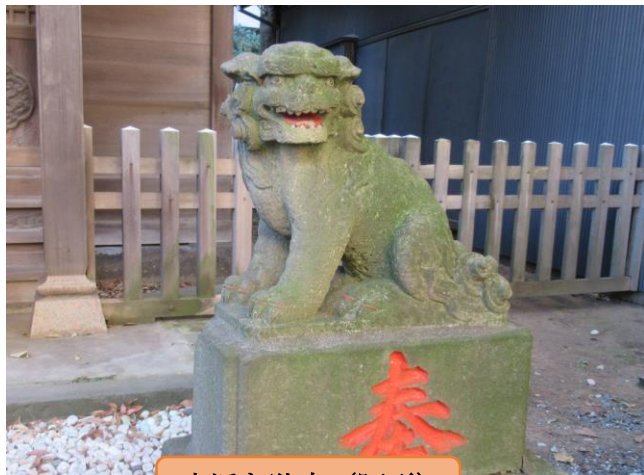
「愛染明王と馬頭観音」

境内には、今から210年程前、文化8年(1811)に作られた愛染明王と、240年程前、安永3年(1774)に作られた馬頭観音があります。

愛染明王は、恋愛成就の神として、また「藍染」に通じるところから染め物業者の守り神として信仰されました。昭和20年代中頃まで近くに藍染のお店が11軒ありましたが、今は1軒になりました。



鳥居から見た道祖神社社殿



立派な狛犬（阿形）



左 愛染明王、 右 馬頭観音